

留 学 報 告 書

作成日:2018年3月14日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ビュート大学 現地言語: Butte College
留学期間	2017年8月～2017年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年12月27日
明治大学卒業予定年	2020年3月

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
プログラム費用		円	授業料と同じ
保険料		20,000円	明治大学が提供していた保険にだけ入りました。
授業料		400,000円	
宿舍費		400,000円	
生活費		250,000円	
食費		25,000円	
渡航旅費		150,000円	
その他		50,000円	
合計		1,520,000円	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
アパート
2)滞在費
月\$550
3)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数3)
4)設備について
<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂(浴槽) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()
5)住居を探した方法:
大学側の紹介していた寮
6)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
Craig Hall というところに滞在していましたが、感想としては良くないです。他の多くの留学生も退去して行きました。部屋の環境もいまいちで、事務所の人も対応できる人とできない人の差が激しく、質問してもばらばらの回答だったりします。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した: 溶連菌になったとき、大学内の病院にかかりました。\$16で薬ももらえました。
2)保険について。現地の医療保険に加入しましたか?
<input type="checkbox"/> した() <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
3)留学前後での予防接種の必要の有無
<input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無
4)学内外で問題があったときは誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか?
大学の留学担当の方がとても親切で何かあったらすぐ相談していました。
5)現地の治安はどうか? また現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか? 実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか?
治安は良かったと思います。当たり前ですが、荷物を置きっぱなしにしないことを心掛けていれば、犯罪に巻き込まれることは少ないかなと思います。夜は、酔っぱらった人が外にいたりするので、21時以降の外出は控えていました。
6)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか? (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
部屋、大学どちらにもWi-fiがあったので利用できていました。
7)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
基本的にはクレジットカードを利用していました。キャッシュはデビットカードで引き出していましたが、手数料が結構かかるので1、2回程度しか引き出していません。
8)利便性、買い物はどうか? また現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば入力してください。
近くのスーパーまで徒歩25分というところで、すごく不便でした。現地の人は車で行けるのですが、私たちは運転ができなかったので、歩いていかバスで行っていました。醤油やみそ、みりんなどの調味料はスーパーにも売っていたので、持っていかなくても問題ないと思います。
9)授業料の支払方法、支払時期等について入力してください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)
現地に行ってから、クレジットカードで払いました。オリエンテーションで説明があったので、その通りにインターネット上で操作しました。
10)その他、生活等に関して参考となる事項を入力してください。

--

渡航について

1)ビザについて。ビザの種類を入力してください。
ビザの種類(F-1・J-1 など): F1
2)取得方法、提出書類、取得手続きにあたっての注意点等。
ビザは早めに取得した方がいいです。
3)手続きに要した日数(提出書類の取得からビザ取得まで)
約 3週間
4)出国と帰国の日付を入力してください。(西暦で入力)
出国: 2017年8月1日
帰国: 2017年12月27日
5)経路を入力してください。(例: 成田→シカゴ→ニューヨーク→シカゴ→成田)
成田→ロサンゼルス→サクラメント→チコサクラメント→ロサンゼルス→羽田
6)現地での出迎え
<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無
7)到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容
1週間くらいかけてオリエンテーションがあります。すぐ参考になるので絶対参加してください。

卒業後の進路について

1)留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。
どの国籍の人が偉い、といったようなことはないのだということを強く感じました。日本人が劣等感を感じる必要もないし、英語が話せないからだめだということもありません。日本人は日本人の目線でグローバルについて考えていけばいい
2)留学前の単位取得や就職活動に対して工夫した点
特になし。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13.5単位	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めて入力して下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
lifespan psychology	人の一生を通して考える心理学
科目設置学部・研究科	psychology
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	P. Light
授業内容	人が生まれた瞬間から乳児、幼児、青年、壮年期になるまでの心理的な成長をたどる。

試験・課題など	毎回授業の初めに小テスト(10点満点)。半期を通じて3回大きなテスト(100点満点)
感想を自由に述べて下さい	担当していた教授がとてもいい方でわからないことは授業中でも質問していました。英語なので理解が遅い私にも何回も言い方を変えて説明してくださり、内容を理解できました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Child Growth/Development	児童の成長と発達
科目設置学部・研究科	education
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input checked="" type="checkbox"/> 3単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	S. Chofla
授業内容	人が生まれる前から青年期になるまでの身体的な成長と精神的な成長を学ぶ。
試験・課題など	毎週インターネット上で提出するオンラインテストがあります。
感想を自由に述べて下さい	ディスカッションする機会が多かったので、緊張しましたが良い経験になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Small Group Communication	少人数でも討論
科目設置学部・研究科	communication
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input checked="" type="checkbox"/> 3単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	A. Kelly
授業内容	少人数ディスカッションする意義や、チームでの役割分担、良いアイデア生み出す方法などを学び、半期を通して3回のグループプレゼンテーションを行う。
試験・課題など	2回のテスト(100点満点)と3回のグループプレゼンテーション(200点満点)
感想を自由に述べて下さい	3回プレゼンテーションがあるので、その準備に毎週チームで夜まで話し合いがありました。結構、難しい授業ですが英語力を上げたい人は挑戦するのもよいと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Child/Family/Community	子供とそれを取り巻く環境
科目設置学部・研究科	education
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input checked="" type="checkbox"/> 3単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に75分が2回

担当教授	C. Roberson
授業内容	子供が育っていく環境因子に何があり、何が必要なのかを学んでいく授業。授業中に、親になるために何が必要なのか、子供の教育に何が必要なのかを討論することもあり、学問的だけでなく実際に自分のこれからの生き方を学べました。
試験・課題など	授業内課題と、宿題がありました。
感想を自由に述べて下さい	授業をとっていたのは、ほとんど女性ですでお子さんがいる生徒もいました。実際に子育てはどうなのか、親との関係、学校との関係など聞くことができ良い経験になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Volleyball II	バレーボール
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(1.5)単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input checked="" type="checkbox"/> 1.5単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	S. Vela
授業内容	バレーボールを楽しむ
試験・課題など	小テストが何回かあります。
感想を自由に述べて下さい	単位認定されるかどうか分かりませんでしたが、体を動かしながら英語を学びたいと考えたので履修しました。その場でとっさにでてくる英語も増えて、バレーボール自体もとても楽しかったなので、なにかスポーツの授業をとるのはおすすめです。

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	
4月～7月	留学説明会に参加して、TOEFL iBT や学校の成績でどのくらいのスコアが必要なのかを知る。
8月～9月	TOEFL iBT に向けての勉強、受験
10月～12月	アカデミック留学・インターンシップ・プログラムに申し込む
2017年 1月～3月	選考発表後、クレジットカードの準備、パスポートの取得、飛行機の予約など
4月～7月	寮への申し込み、渡航の準備
8月～9月	現地のオリエンテーションに参加、授業登録
10月～12月	中間テスト、期末テスト、帰国
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	入学当初は留学する予定も意思もなかったのですが、留学支援の制度が整っていて、相談できる先生や事務の方がいたので、しようと思いました。また、学部全体が留学に対する意識が高く、留学を希望する方が多かったのも影響されたと思います。留学先の国や大学、期間などの選択肢が多く、自分に合った留学を見つけられるのは明治大学国際日本学部のメリットなので、留学を考えていなくても説明会などに参加してみる価値はあります。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	スピーキングがメインの授業も週2ではありますが、実際に留学すると自分の英語力のなさに落ち込みました。日本人と英語で話すのと英語圏の人と話すのでは、本当に全く感覚が違います。知らない表現、単語も山のように出てくれば、スピード感もあります。なので、留学する前にもう少しネイティブの方とお話しする機会を設けていたらもう少し楽しく生活できたのかなと思います。明治大学にも、留学生の方との交流会やオフィスアワーなど、ネイティブの方と交流できる機会があるので、どんどん活用すべきだと思います。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト等	留学中に使った書籍は特にありません。インターネットもあまり使わなかった気がします。わからないことは、地元の人または大学の事務の方、友達に聞いた方が確実にわかると思います。留学する国や地域によると思いますが、私の留学先はとても田舎で情報があまりないところだったので、人に頼っていました。あとは、海外では当たり前のこと、荷物を置きっぱなしにしないとか、夜は一人で出歩かないとか、違法な薬に手を出さない(アメリカでは大麻を吸っている人が多かったです。)などに注意していました。
この留学先を選んだ理由	一番は、期間と費用です。日本で言う、4年制大学と短期大学のようにアメリカにも2種類あり、私は費用の安いコミュニティカレッジにしました。おそらく、費用は半分もしくはもっと安く抑えられると思います。また、1、2年で扱う科目は4年制でもコミュニティカレッジでも変わらないので、特にこだわりがないのであればコミュニティカレッジで十分だと思います。ただ、周りの環境、人は違うと思うので、どんな人と出会いたいかをよく考えた方がいいかもしれません。
大学・学生の雰囲気	コミュニティカレッジだったので様々な年齢層の生徒がいました。60歳を超えたおばあさん、おじいさんから子供を持つお母さん、お父さんまでいました。一番多い層は、10代から20代なので特に違和感などはありません。逆に、アットホームな感じで、誰とでも話せる雰囲気でした。教授もとてもいい方々で、質問やオフィスアワーで気軽に話に行けます。他の大学の雰囲気を知らないので比較できませんが、ビュートカレッジはとても良い大学だと思います。おすすめです。
滞在先の雰囲気(寮・アパート・ホームステイ・シェアハウス)	滞在していたアパートは大学側から紹介されたところになりました。対応などははっきり言うといまいちです。メールをしてもなかなか返ってこなかったり、質問をしても人によって違う答えが返ってきたり…アメリカではそれが普通なのかもしれませんが、フラストレーションを感じる場面もありました。冷房、暖房も微妙で、私の部屋にはどちらもついていませんでした。他の部屋はついてみたいのですが、自分で調節できるわけではなく、すごく寒い、暑いなどあるようでした。
交友関係	私は、授業で5人グループで活動する機会があったのでその人たちとは友達になりました。他にも、同じ部屋の人、留学生、同じ授業の人とは仲良くなれました。他の日本人の学生も授業や同じ部屋の人と仲良くなっていました。自分から求めれば交友関係は心配しなくても大丈夫だと思います。拙い英語でしたが、わかろうとする気持ち、明るい表情、相槌など、対日本人でもすることを忘れなければ自然に仲良くなれます。
困ったこと、大変だったこと	自分の英語力のなさから、相手の言っていることがわからなかったり、言いたいことが伝えられなかったりする歯がゆさは感じました。ある時、グループメンバー同士で意見のぶつかり合いの喧嘩が始まってしまい、私に意見が求められたとき何と答えればいいのかわからなかったとき、自分の英語力のなさを痛感しました。大変だな、困ったなどは思いましたが、自分の良い経験にはなりました。
学習内容・勉強について	学習内容のレベル的にはそんなに難しくありません。ただ、それを英語で学ぶということが難しいかなと思います。専門用語のスペルや発音が難しく、覚えるのが大変でした。また、日本語で聞けばなんでもない説明も英語でされるとわからなくなるときもありました。授業中でわからないことがあったら、教授でも周りの人でも聞いて問題ありません。授業中、質問はどんどん教授にされるので気を使わなくていいと思います。私がした時も優しく、わかりやすく答えていただけました。

課題・試験について	課題、試験はどの授業にも毎回ありました。小テストは1週間に1回、課題は毎回、大きいテストは半期に2回でした。テスト前は、徹夜をして勉強していました。勉強すれば点数は取れますので、必要以上に心配する必要はないと思います。ただ、当たり前ですが勉強しなければ、点数は取れませんし、成績も F になってしまうので頑張りましょう！もし、どうしても悪い点数だったら教授に相談すれば留学生という点を加味してくれると思います。
大学外の活動について	授業がない日は、明治大学の学生と買い物に行ったり、イベントに行ったり、ご飯を食べたりしていました。近くに大きいスーパーやショッピングモールがなかったので、休みの日を利用してバスに乗って少し遠くまで行っていました。 他にも、ボランティア活動や大学のイベントに参加しました。ボランティア活動は授業で参加するように言われた課題として精神的、身体的に障害を持つ方の支援施設に行きましたが、やってよかった経験のひとつです。
留学を志す人へ	何のために留学をするのか明確にしていっての方が良いです。当たり前かもしれませんが何となく行く、周りが行くから行くだと、留学の意義が半分、それ以下になってしまいます。同じ大学に、留学生は他にもいましたが、何をしたいのだろう…という方もいました。違法な薬に手を出したり、単位を落としたり…周りに染まればいいということではありません。きちんと自分の意志を持って、どうなりたいのか、どういう仲間と一緒にいれば良いのか考えるべきだと思います。

1 週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	買い物		グループ活動
	自習	自習	自習	自習			
午後	授業	授業	授業	授業			
夕刻							
夜	課題	課題	課題	課題			課題